

【数理科】

- ・基本的な経費（図書費、コピー代）を科共通経費としてまかなう
- ・教育改善インフラ整備（コンピューター環境等を、レベル差なく整えグループとして活用する）
- ・執行額（概算）：

図書費	1,000千円
コピー代	300千円
コンピューター環境整備等	800千円
計	2,100千円

【一般教養科】

各教科の教材、語学系科目の視聴覚機器、体育の運動器材等、授業運営に不可欠なものを整えるほか、新任教官経費を確保するため、主任裁量経費と教官研究費、実験経費とを総合させ、新任教官経費をのぞき 保健・体育教官1人の経費と他教科教官1人の経費とが2：1になるようにした。

平成14年度に比し、教官研究費、実験経費が減額されたことも手伝い、機器・機材経費が不足している。

主任裁量経費内訳

科維持経費	408,000円(+ 28,000円)
国語・国文	131,000円(- 92,300円)
外国語	376,000円(+ 176,000円)
社会系	113,000円(- 139,400円)
保健・体育	972,000円(+ 37,700円)
芸術	100,000円(- 10,000円)
合計	2,100,000円(± 0円)

*カッコ内は前年度比

3.4.7 環境管理・安全防災体制

環境保全委員会の活動

【1】紙の有効利用

リサイクル紙使用、両面使用、使用済み古紙の分別とリサイクルなど、そして、次のような紙の有効利用、省資源活動を行った。

- *) シュレッダー使用禁止に伴う機密文書処分(5月20日と16年3月10日に回収して、製紙工場に搬入し、処分した。)
- *) 古紙の4種分別システムがほぼ定着し、ゴミ置場には紙ごみがほとんど出なくなった。
- *) 紙の使用枚数のデータを図 3.4.1 に示す(12年度以降は全てリサイクル紙を使用)。

年度別紙使用枚数(千枚単位)

年度	PA3	PA4	PB4	PB5	ZB4	ZA4	合計枚数
10	35	805	190	106.5	364		1500.5
11	45	757	165	90	338		1395
12	34	794.5	150	22.5	323	133	1457
13	36	914	157.5	42.5	285	110	1545
14	36.5	1020	115	37.5	280	92	1581
15	54	2350	150	100	307	157	3118

P(PPC用紙)、 Z(ザラ紙)、 A、Bは版サイズ

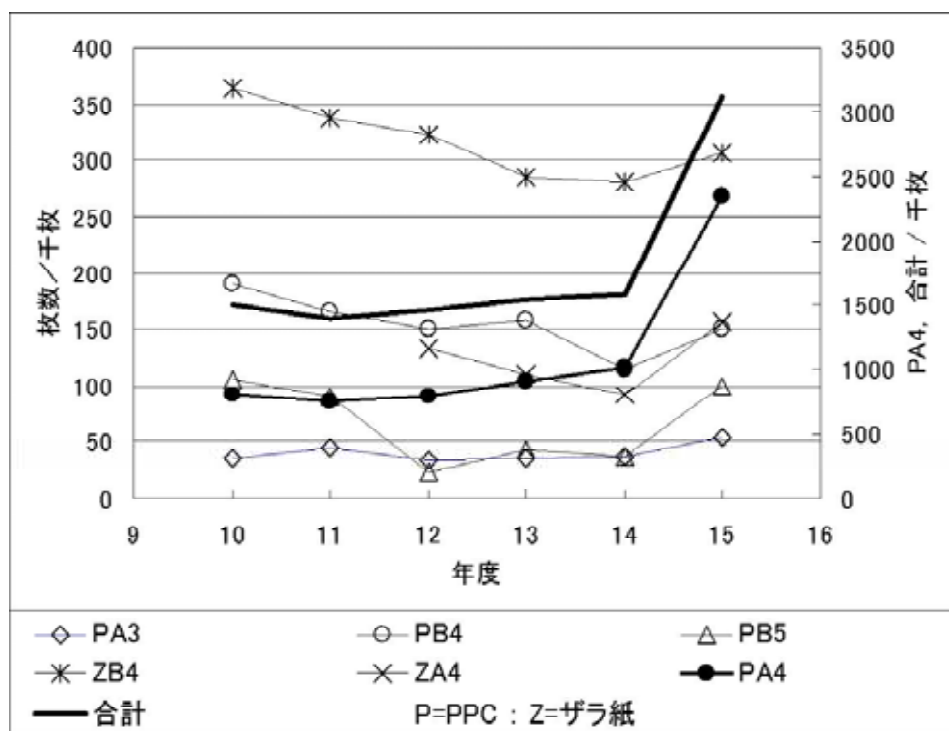


図 3.4.1 紙使用枚数経時変化

A4 版 PPC 用紙以外の用紙の使用枚数は環境保全委員が活動を開始(H12 年度)して以来、減少傾向にある。特に、授業用に使うザラ紙の使用量は着実に減少している。15 年度の僅かな増加の原因は、独法化に伴う棚卸のためである。A4 版 PPC 用紙が 15 年度で急激に増加した原因は、独法化、生物応用化学科の JABEE 申請、電気工学科の学科改組に伴う事務量の増加のためである。

[2] 節電活動

次のような節電活動を行った。

- *) 夏季のノ - ネクタイ、ノージャケット運動(希望者はワッペンを貼り付け)
- *) 学生環境委員の協力を得て、教室などの出入り口に「退室時には消灯確認」のラベルを貼り付けた。
- *) 消費電力量が契約量に近づいたときは、施設係から LAN で度々節電を呼びかけた。

これまでの活動の成果で、増加傾向が止まり、最近 5 年間の消費電力量はほぼ横ばいである。その結果を図 3.4.2 に示す。

年間電力使用量	
年度	電力消費量
6	136.40
7	149.25
8	151.01
9	157.62
10	165.76
11	163.83
12	186.43
13	185.06
14	193.12
15	188.10

単位(万 kWh)

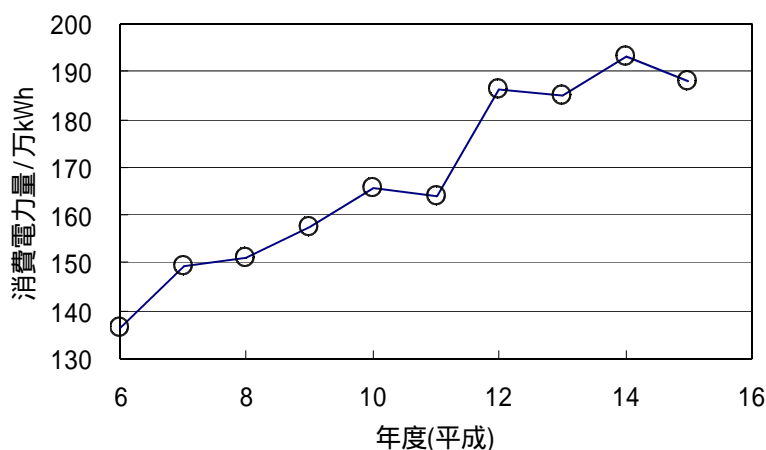


図 3.4.2 消費電力量の経時変化

[3] ゴミ分別

次のような活動を通して、廃棄物のリサイクルに努めた。

*) 飲料用容器(カン、ビン、ペットボトル)のリサイクル

飲料用容器を市のゴミ処理システムではなくて、構内売店に返してリサイクルするシステムに変更(5月から実施)。それに伴って、教室等に専用容器を設置。

更に、年度末ころに、ペットボトルを分別して欲しい、との回収業者からの要望があり、16年度から実施できるように、ペットボトル専用容器を追加した。

*) プリンタインクカートリッジリサイクル

使用済みのものを業者に返してリサイクルするため、用度係横に専用回収容器を設置した。(16年1月15日)

[4] 学校保健法にもとづく環境衛生検査のシステムづくり

- *) 検査結果報告に従って、学生課が素早く対応し、その結果を委員会に報告して、対処方法を更に検討するシステムを確立した。

[5] 防火訓練活動

- *) 消火設備操作実習
各課、科別(9グループ)で8月中に実施。
部署毎に現場の実情にマッチした緊急時対処マニュアルを作成
- *) 校内一斉防火訓練
11月7日(金)7,8時限目 出火想定時刻 15:50、想定場所：機械科棟2階

[6] 校内美化活動

- *) 教職員8月28, 28日各課、科都合のよい時間帯に校内の除草作業を実施。
- *) 10月10日(始業日)学生、教職員一斉、校内美化活動30分程度のゴミ拾い
- *) グランド、体育館周辺の長期放置器具等の廃棄処分(10月)
- *) 「学校環境美化宣言」が運営会議で決議された(9月10日)。
その趣旨に沿って、翌年度から、教職員と学生が協同して、年間を通じて校内の美化作業をすることを決めた(2月)。

[7] 学生の環境専門委員会の活動支援

環境保全委員会の発案で学生会組織の中に、「環境専門委員会」を設立した。その活動状況を示す。

- *) 学生科棟庭の花壇設置(170株、7月16日：オープニングセレモニー)とその後の維持管理
- *) 市民一斉清掃活動に参加(7月27日)
- *) 高専西側の道路の清掃を、新居浜市の里親制度に登録して、実施(月1回程度)
- *) 全学生を対象として、環境意識調査を実施。結果を国領祭の展示、と「高専だより」で発表。
- *) 学生環境専門委員会初代委員長を学生表彰対象者として推薦し、受賞した。

[8] 環境教育

特活の時間を使って環境教育を行った。

- *) 3年E,C,D科(1月8日：講師：真鍋)
- *) 3年生M,Z科(1月8日：講師、谷)、
- *) 1年生全クラス(1月30日：講師、真鍋)